



©Team「八重子のハミング」/©2018「嘘八百」製作委員会/©SHIBAGUCHI FIL./©「STROBE LIGHT」製作委員会/©東映/©2017 Ten Years Studio Limited. All Rights Reserved

第9回 周南絆映画祭

SHUNAN KIZUNA FILM FESTIVAL 2018

6/2[土]・3[日]

【会場】
シネマ・ヌーヴェル、テアトル徳山 I
山口県周南市銀座2-18 2F

1日券・2日間フリーパスポートは
6/1(金)まで発売中!!

※映画祭当日の販売はありません。
※当日は1本券のみとなります。

LINE UP 八重子のハミング / 嘘八百 / 十年 / それから / ストロボライト / 隣人のゆくえ-あの夏の歌声-
(県東部初上映) (県内初上映) (県内初上映) (県東部初上映)

GUEST

※順不同
※ゲストは都合により
変更となる場合がございます。



「八重子のハミング」監督
佐々部 清
(下関市出身)



「嘘八百」監督
武正晴



「嘘八百」脚本
足立 紳



「ストロボライト」監督
片元 亮
(田布施町出身)



「隣人のゆくえ」監督
柴口 勲
(下関市出身)

EVENT

司会/マニイ大橋
(周南映画祭実行委員長)

	10:20 ~ オープニングセレモニー
2 [土]	12:30 ~ 片元亮監督「ストロボライト」トークショー
	18:05 ~ 佐々部清監督「八重子のハミング」トークショー
	19:30 ~ 交流パーティー <small>要予約 3,500円</small>
3 [日]	13:40 ~ 柴口勲監督「隣人のゆくえ」トークショー
	19:25 ~ 武正晴監督・足立紳さん「嘘八百」トークショー
	20:10 ~ クロージングセレモニー

TICKET

【前売券】1dayチケット(1日券) ¥1,500 / 2日間共通フリーパスポート ¥2,500
※前売券はメール予約も可能です。shunankizuna@gmail.com
【当日券】《1作品につき》一般・シニア(60歳以上)・大高生 ¥1,000 / 小中生 ¥500 / 小学生未満 無料
【交流パーティー参加費】お一人様 ¥3,500

前売券プレイガイド

【周南市】周南市文化会館、まちのポート(みなみ銀座) 【下松市】スターピアくだまつ 【防府市】アスピラート 【光市】光市民ホール 【山口市】山口情報芸術センター 【宇部市】シネマスクエア 7
【柳井市】ふちだ楽器店柳井店 【田布施町】田布施地域交流館

お問い合わせ

周南映画祭実行委員会事務局 shunankizuna@gmail.com TEL 070-7560-6930(月~土曜・10:00~17:00) ※番号が変わりました



主催:周南映画祭実行委員会

最新情報は、公式Facebookページで!

検索 周南「絆」映画祭 Facebook

共催:徳山商工会議所青年部(青友会)、周南シネクラブ、(公社)周南青年会議所、周南新聞社、せとうちフィルム・パートナーズ、せろから企画、徳山商店連合協同組合青年部、徳山大学、(株)ふじたプリント社、Project L、毎日興業社、(株)まちあい徳山、和田山企画(限不同)
後援:周南市、下松市、光市、田布施町、周南市教育委員会、下松市教育委員会、光市教育委員会、(公財)周南市文化振興財団、周南文化協会、徳山商工会議所、新南陽商工会議所、下松商工会議所、光商工会議所、鹿野町商工会、熊毛町商工会、都濃商工会、大和商工会、(一財)周南観光コンベンション協会、光市観光協会、下松フィルム・コミッション運営委員会、KRY山口放送、tvsテレビ山口、yab山口朝日放送、(株)ティーケーブル周南、Kビジョン(株)、朝日新聞社、毎日新聞社、読売新聞西部本社、中国新聞防長本社、山口新聞社、エフエム山口、レジャーFM(限不同)



監督 佐々部 清 (ささべきよし)

1958年下関市出身。山口県立豊浦高等学校、明治大学文学部演劇科、横浜放送映画専門学校(現・日本映画大学)卒業。1983年より映画及びTVドラマの助監督となる。日本映画監督協会理事。2002年『陽はまた昇る』で監督デビュー。主な作品に『チルソクの夏』(日本映画監督協会新人賞/新藤兼人賞)『半落ち』(日本アカデミー賞最優秀作品賞)『夕嵐の街 桜の園』『出口のない海』『ツレがうつになりまして。』『八重子のハミング』など。

登壇日 ■2日(土) 15:25~ 舞台挨拶 18:05~ トークショー



監督 武正晴 (たけまさはる)

1967年愛知県出身。『ボーイ・ミーツ・ガール』(07)で長編映画デビュー。『カフェ代官山〜Sweet Boys〜』、『カフェ代官山II〜夢の続き〜』、『花婿は18歳』、『カフェ・ソウル』、『EDEN』、『モンゴル野球青春記』、『イン・ザ・ヒーロー』、『百円の恋』など。『百円の恋』は、日本アカデミー賞、ブルーリボン賞など数々の映画賞を総なめにし、第88回アカデミー賞外国語映画賞の日本代表作品にエントリーされた。近作に『リングサイド・ストーリー』、公開待ちに『きばい やんせ!私』がある。

登壇日 ■2日(土) 13:40~ 舞台挨拶 ■3日(日) 19:25~ トークショー



脚本家 足立 紳 (あだちしん)

1973年鳥取県出身。日本映画学校卒業後、脚本を書き始める。『百円の恋』で『経』映画祭・第1回松田優作賞グランプリ受賞、第39回日本アカデミー賞最優秀脚本賞、第17回菊島隆三賞受賞。『お盆の弟』で第37回ヨコハマ映画祭脚本賞受賞。TVドラマ『佐知とマユ』で第38回創作テレビドラマ大賞、第4回市川崑脚本賞受賞。16年『14の夜』にて監督デビュー。小説に『乳房に放』、『弱虫日記』など。『志乃ちゃんは自分の名前が言えない』、『こどもよくどう』、『きばい やんせ!私』の脚本作が待機中。

登壇日 ■2日(土) 13:40~ 舞台挨拶 ■3日(日) 19:25~ トークショー



監督 片元 亮 (かたもとりょう)

1977年田布施町出身。大阪芸術大学大学院修士課程修了。中島貞夫監督に師事し「最後の弟子」と言われる。『キラキラ』で第10回インディーズムービーフェスティバルTANPEN部門グランプリ受賞。2015年『ストロボライト』がインディーズ映画としては異例の1ヶ月間ロードショー。第29回高崎映画祭クロージング作品として招待され、カナダ国際映画祭2015 Rising Star Award/メキシコ国際映画祭2015 Golden Palm Award等、多くの映画賞を受賞。その他舞台、ドラマ、CMなど様々なジャンルで活躍中。

登壇日 ■2日(土) 12:30~ トークショー ■3日(日) 16:40~ 舞台挨拶



監督 柴口 勲 (しばぐちしゅん)

第2回周南「経」映画祭(周南ショートフィルムコンペティション)で短女作『周南の娘』で奨励賞と観客賞を受賞し、以降自主映画の制作を続けているサラリーマン。下関市在住。梅光学院の中高生40名をキャスト・スタッフにして制作した『隣人のゆくえ』は新宿・横浜・名古屋・大阪で劇場公開され、日本芸術センター映像グランプリ(感動賞)、新人監督映画祭(長編部門・準グランプリ)TAMA映画フォーラム(TAMA NEW WAVE)など多くの賞を受賞。新作『SUMMER RECORD』は神戸スポーツ映画祭グランプリ受賞。

登壇日 ■2日(土) 16:20~ 舞台挨拶 ■3日(日) 13:40~ トークショー

LINE UP



八重子のハミング

監督/佐々部清 出演/升級、高橋洋子 (2016年・112分)
秋市在住の陽信孝による同名著作を佐々部清監督が故郷の山口県で撮影した作品。4度のがん手術を乗り越えた夫と若年性アルツハイマー病の妻との絆を描いた人間ドラマ。周南ロケにエキストラ100名出演。



嘘八百 県東部初上映

監督/武正晴 脚本/足立紳、今井雅之 出演/中井貴一、佐々木蔵之介 (2017年・105分)
第1回松田優作賞グランプリ『百円の恋』を映画化した武正晴監督と足立紳(脚本)が再タッグを組み、中井貴一と佐々木蔵之介をダブル主演に迎えた『幻の利木の茶器』をめぐる騒がしいを軽妙に描いたコメディドラマ。



十年 県内初上映

監督/ノン・ガリョン、他 (2015年・108分)
香港の新鋭若手監督5人が自主製作としてメガホンをとり、2015年より10年後の香港を題材に描いたオムニバス作品。わずか1館で公開されたものの、口コミで香港全域に拡大。香港電影金像獎で最優秀作品賞を受賞。



それから (35mmフィルム上映)

監督/森田芳光 出演/松田優作、藤谷美和子 (1985年・130分)
明治後期の東京を舞台に、生きるためだけに働くのは非人間的だとして「遊民」の生活を送る代助(松田優作)が親友の妻への愛に悩む姿を描いた夏目漱石の同名小説を『家族ゲーム』の森田芳光監督が映画化。



ストロボライト 県内初上映

監督/片元亮 出演/福地教光、宮崎舞子 (2013年・120分)
閑静な住宅街で起こった奇妙な殺人事件をめぐる謎り広げられる本格派サスペンスとラブストーリーが交錯する、クミナル・ラブストーリー。田布施町出身の片元亮監督の作品。



隣人のゆくえ-あの夏の歌声- 県東部初上映

監督/柴口勲 出演/正司怜美、福田麗、江藤心愛、平島咲良、吉田玲、岡本ゆうか (2016年・77分)
下関市出身の柴口勲監督が40人の中高生と下関の梅光学院を舞台に作り上げたミュージカル。キャスト、音楽、振付、撮影、録音、照明、助監督、メイク、美術などを同校の生徒たちが担当。本作で数々の新人映画賞を受賞した。

SCHEDULE

入替制

※全席自由
※入替制です。映画ごとに受付を行います。1日券・フリーパス券で続けて映画をご覧になる場合でも座席は一度退場頂き、受付を済ませてからご入場下さい。尚、トークショーと直前の映画の入替はございません。
※上映時間イベントは予告なく変更となる場合がございます。予めご了承ください。

6/2(土) 受付19:15~ 19:30 → 21:00
交流パーティー 場所: 未定
要予約 参加費 3500円
※お名前・参加人数をご記入の上、メールでご予約下さい。
shunankizuna@gmail.com

6/2(土)	シネマ・ヌーヴェル	テアトル徳山I
9:00		
10:50	それから (130分)	EVENT 10:20 オープニングセレモニー
12:30		10:30 ストロボライト (120分)
13:30	八重子のハミング (112分)	EVENT 12:30 上映後トークショー GUEST:片元亮監督
15:00	EVENT 上映後舞台挨拶 GUEST:佐々部清監督	EVENT 上映後舞台挨拶 GUEST:武正晴監督、足立紳さん
16:35	隣人のゆくえ (77分)	13:55 嘘八百 (105分)
18:30	EVENT 上映前舞台挨拶 GUEST:柴口勲監督	16:10 八重子のハミング (112分)
19:05	十年 (108分)	EVENT 18:05 上映後トークショー GUEST:佐々部清監督
		19:15 嘘八百 (105分)

6/3(日)	シネマ・ヌーヴェル	テアトル徳山I
9:00		
9:40	八重子のハミング (112分)	9:50 嘘八百 (105分)
12:00		12:10 十年 (108分)
12:20	隣人のゆくえ (77分)	EVENT 13:40 上映後トークショー GUEST:柴口勲監督
15:00	14:50 八重子のハミング (112分)	14:40 ストロボライト (120分)
18:00	17:10 それから (130分)	EVENT 上映後舞台挨拶 GUEST:片元亮監督
		17:40 嘘八百 (105分)
		EVENT 19:25 上映後トークショー → 20:10 GUEST:武正晴監督、足立紳さん
		EVENT クロージングセレモニー